



6月23・24日 5年生臨海学習

知多半島、日間賀島を中心に臨海学習に行ってきました。

初めて見るもの、体験することがたくさん。2日間元気いっぱいでした。

〔中部国際空港〕



〔日間賀島〕



歯と口の健康旬間

6月6日から6月20日まで「歯と口の健康旬間」でした。

1、2、3、6年生は歯科衛生士さんによる歯科指導を受けました。染め出しをして赤くなったところを、鏡を見ながらしっかり磨き直しました。

期間中、歯みがきすごろくや、4年生のこども 8020 推進員育成事業、5年生の全国小学生歯みがき大会参加、保健集会、コラボ給食、歯と口の健康川柳など、様々な取り組みがおこなわれました。



校長講話より「なかよし旬間」に向けて

大切にしてほしいことは、「みんな好き、みんななかよし」です。今日はお互いが仲よしになるために校長先生が大切だと思うことをお話します。



みなさんは、「三尺三寸の箸」というお話を知っていますか？三尺三寸はだいたい1メートルです。随分長い箸ですね。実際に三尺三寸の箸を作ってみました。これです。誰か使ってみたい人はいますか？とても食べづらいですね。それでは三尺三寸のお話をします。

ある人が「天国と地獄のちがいは何ですか」と尋ねたのです。するとその人は天国と地獄を見せてもらえることになりました。

最初に見たのは地獄の部屋です。箸があまりにも長すぎて、自分の口まで料理を運ぶことができません。せっかくごちそうがあるのに、誰も食べることができないので、困ったりイライラしたりしていたのです。

《裏面へ》

次は天国の部屋です。長い箸を使って向かいに座っている人に食べさせてあげていたのです。自分が食べたいと思う気持ちがあるのは当然ですが、まず目の前の人のために「どうぞ」と食べさせてあげると、相手も自分に「どうぞ」と食べさせてくれるので、みんながちゃんとおいしく食べられていたのです。そこにいる人たちはみんな元気で、にこにこ幸せそうです。

このように、相手を思う思いやりの気持ちがみんなを幸せにする場面は、皆さんの普段の生活の中にもたくさんあります。こうした小さな思いやりの積み重ねが、みなさん一人ひとりを温かく包み、皆さんを仲よしにして、手良小学校をやさしくて楽しい学校にしてくれます。
(詳細は手良小学校HPをご覧ください。)



「天国の部屋」

6月30日～7月11日 なかよし旬間

なかよし旬間にあわせて、仙丈班(縦割り班)による清掃、手良っ子集会、なかよし給食などの取り組みがありました。

〔手良っ子集会〕

仙丈班ごとに、風船バレーを楽しみました。相手の名前を呼んだり、低学年には優しく打ち返したりしていました。



〔たてわり清掃〕

仙丈班のお兄さんやお姉さんが、掃除のやり方を優しく教えてくれます。どの班も、みんな黙々と掃除しています。



七夕に願いを込めて 7月9日

1年生は地域の方にいただいた竹に、七夕飾りを作りました。折り紙を使い、切り紙や輪飾りなどたくさんの飾りをつけました。

全校のみんなにも短冊を配り、願い事を書いてもらいました。できた七夕飾りは、保育園の園庭に運んで、保育園の皆さんと一緒に、燃やして天の神様に願い事を届けました。

